

理念

私たちは世代や立場をこえ、一人ひとりを大切にし優しさを紡ぐ法人を目指します。

障害等部門

・私たちは障害者・家族の思いや願いを真正面に受け止め、共に考え、共に悩み、一緒に成長していく法人をめざします。

・私たちは障害者やその家族への支援を通じて、だれもが住みやすい街づくりをすすめます。

・私たちは障害者、家族、関係者の安心した暮らしのため、平和と人権の尊重を大切にします。

* 職員さんをお願いしたいことについて
 1、利用者さんの話を最後まで聞いてください。2、自分の考えを押し付けしないでください。3、利用者さんの気持ちを理解する方法を探し続けてください。4、利用者さんの新しい面を探し続けてください。5、その支援は、誰のためにしているか考えてみてください。6、働く上で、関わる人たちに、常に歩みよろうとしてください。7、悩んだり・困ったりした時に、相談できる人を見つけてください。8、地域とのかかわりを大切にしてください。

高齢等部門

『ケアプランセンターたんぽぽ』
 ・利用者の生活全般に寄り添い、意欲引き出し、潜在的な能力、強み、できそうなことを見出し、それを発揮できるように支援を行う。
 ・利用者・家族の気持ちを大切に、利用者が自立した生活と尊厳を保った決定をすることができるように支援します。
 ・高齢者・障害者の方が人生の最後の(又は困難な)ステージを、自分が大切にされている、安心して相談できると実感して頂ける事業所でありたい。そのために職員が常に信頼に値する人であるように研鑽を積み増す。

『ケアセンターたんぽぽ』
 ・人に寄り添う介護

『ディサービスたんぽぽ』
 ・“楽しく・寄り添い・笑顔の多いひととき”

保育部門

・子ども一人ひとりの人権を尊重し、子どもとその家庭の抱える様々な問題や悩みを解決するとともに様々なライフスタイルに対応した保育支援を行うことにより、子どもの健全育成と母親が出産後も働き続けることができる豊かな社会の実現に寄与すること

開放型複合福祉施設～1.5人称の距離を実現する～

・育む 働く 重ねる～立場や世代を超えてつむぐ明日のカたち～

* 一人ひとりの「そのまんま」に合った距離感を実現できる空間で、つむぎ出される人と人との関わり。支えているようで支えられている「おたがいさん」が日常に溢れ、時間をかけて、広がっていく居場所。「みんなが育むつながりのまち摂津」に付む寄り道のような空間。

課題等

障害等部門

法人内の他分野(保育、高齢、障害)理解、新規利用者の確保、利用者送迎、グループホームの空き室、職員の高齢化等による職員の確保、職員の定着(処遇の改善、メンタルヘルスなど)、人材育成

高齢等部門

人材確保(訪問介護の若い人材を確保するのが難しい)、職員に余裕がなく研修なども行いにくい状況、職員の処遇改善

保育部門

人材確保、職員の処遇改善

単年度目標

| | | | |
|--------|-------------------|-------------------------|----------------------------|
| 2024年度 | 理念本の作成 | 部門を越えた『共創』『協働』の仕組み作りの開始 | 職務内容と勤続年数がより反映される給与体系検討の開始 |
| 2025年度 | | | |
| 2026年度 | 理念と実践を結ぶ仕組みづくりの開始 | | |
| 2027年度 | | 既存事業再編や新規事業について検討の開始 | |
| 2028年度 | | | 全部門の初任給を20万円以上とする。 |

長期目標

チームで進めることや見える化できる組織／子どもやその子どもに関わる人に寄り添う／誰もが暮らしやすい地域／